

# 令和6(2024)年度 北海道鹿追高等学校 学校経営方針

## 1 校訓 自覚・実践・誠実

## 2 学校教育目標

- (1) 主体的に探求し協働し問題解決に取り組む態度と力を身に付ける。
- (2) 自らを省察し誠実に改善に取り組む態度力を身に付ける。
- (3) 自他の生命尊重とともに心豊かな人間性を育み、健全な心身を育成する。

## 3 重点目標

- (1) 社会貢献の意欲を高め、多様性を理解し、異なる価値観を持つ他者と協働できるグローバルシチズン(世界市民:持続可能な社会づくりの主体者)を育成する。
- (2) 鹿追町を舞台とした持続可能な社会づくりの活動等を通して、主体的に探究し、協働し、課題解決に取り組む態度と力を身に付ける。
- (3) 主体的で探求的な学びを通して自己のキャリアパスを明確化し、精力的に自己実現を図る人材を育成する。
- (4) Society5.0における躍進を視野に、倫理観をもってICTを最大限に活用する態度とスキルを身に付ける。
- (5) 基本的な生活習慣を確立し、生きる力を育成する。

## 4 育成を目指す資質・能力

※ 以下は、学習指導要領で示されている育成能力の他に、特に育成を目指す資質・能力(重複あり)を記載。

- (1) 探求・課題解決能力(課題発見・設定/情報収集/分析・評価/仮説設定/企画・立案/行動/検証/修正/改善/新しい価値の創造)
- (2) 主体的に行動する力(自学自習力、キャリアパス構想力、自己実現力、質問力、法令・規則遵守力)
- (3) しなやかな耐性力・回復力(レジリエンス:感情コントロール力、ストレス解消力)
- (4) 他者理解・最適マナー実践力(感情的知能、傾聴力、最適な礼儀・言葉遣い・ドレスコード選択能力)
- (5) 対話まとめて明確に伝える力(ファシリテイト力、クリティカルロジカル思考表現力、情報録整理力、発表交渉力)
- (6) 人とつながり協働する力(多様性受容力、ファシリテイト力、ピア・サポート力)
- (7) ICT活用力(新規情報収集力、情報リタラシー、倫理感、ICT運用能力)
- (8) 国際標準語(英語)活用能力

## 5 経営方針

- (1) 鹿追町の幼小中高一貫教育の最高学府としての高校「鹿追創世アカデメイア」を目指す。  
具体的には以下の推進体制を構築する。
  - ア 鹿追を舞台とした教育課程内・外の探究学習の推進体制(マンダラアッププロジェクト[MUP]、鹿追創生プロジェクト[SIP]、自由探究プロジェクト[FIP])
    - 生徒が各分野の専門家(プロボノメンター)から指導・助言を受けながら、主体的にプロジェクトを創出するサポート体制を構築する。
  - イ ICTを活用したアクティブラーニング授業の推進体制
    - 本校の育成を目指す資質・能力の獲得を目的に、一斉講義形式からの脱却した個別最適化された主体的・対話的で深い学びを提供する授業(反転学習も含む)体制を構築する。
  - ウ ICT・デジタル教材を活用したデジタル進路サポート体制
    - ビデオ会議システムやデジタル教材を積極的に活用し、個別最適化された進路サポート体制を構築する。令和3(2021)年度開始のオンライン公設塾との密接な連携で生徒の自己実現を図る。
  - エ 安心した高校生活を保障するカウンセリングおよびピアサポート体制
    - 高校生活の不安解消やいじめ防止、サポートし合える仲間づくり等、教員等からの面談やピアサポート活動等を提供し、安心して成長できる環境を構築する
  - オ 部活動活性化を目的とした、地域内外の専門家との協働体制
    - 地域内外の専門家からのサポートを得て、地域主導で育成するスポーツ・文化振興体制を構築する。  
段階的に鹿追町の総合型地域スポーツクラブとの協働体制を構築する。
  - カ 英語力早期強化による難関大学・海外大学サポート体制構築

・連携中学校乗り入れ授業からはじまる6年間のインテンシブ英語トレーニング及び希望に応じて海外大学進学を可能とする英語運用能力の育成体制を構築する。

- (2) 令和3(2021)年度からの新コース「国際探究コース」における英語と探究を軸とした教育課程の実施  
・教科・科目等における積極的な探究学習の実施及び「鹿追イノベーション学」の構築
- (3) 授業評価、学校評価等を活用した実効性のあるカリキュラムマネジメントを実施する。
- (4) 大学・大学院及び民間の企業や調査・研究機関と連携した共同プロジェクトを実施する。
- (5) 本校ホームページ及び本校フェイスブック等を活用し、本校の魅力発信を強化する。
- (6) コンプライアンス(法令規則等の遵守)とアカンタビリティ(説明責任)を徹底する。
- (7) 勤務時間外労働を削減する校内体制を構築し、働き方改革を推進する。
  - ア ボトムアップによる業務の平坦化、効率化、精選の推進
  - イ ペーパーレス化をはじめとする安全管理を徹底した業務のデジタルトランスフォーメーション化(DX)の推進

※ デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、テクノロジー(IT)を利用して事業の業績や対象範囲を根底から変化させること

  - ウ シフト制導入の検討・試行
- (8) 学校魅力化コーディネータとの協働体制の構築により、道内外からの入学生受入体制を、町と連携し整備する。また広報をさらに強化する。

## 6 指導上の重点事項

### ア 学習指導

- ・教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動、課外活動等、教育課程全般での探究的な学びの実践
- ・「ディスカッション、まとめ、プレゼンテーション」を軸とした全カリキュラムでの一貫通貫体制の構築
- ・ICT及びデジタル教材等を最大限活用した、個々の生徒、コースに対応する個別最適化された学びの提供
- ・教科科目等における探究学習の積極的導入及び地域教育資源を活用したフィールドワーク等の導入
- ・年に複数回の授業評価による授業改善
- ・積極的な自学自習の支援
- ・外部人材を活用した社会に開かれた授業づくり

### イ 生徒指導

- ・教職員が一体となり、共通理解を持った指導の推進
- ・教育相談やピアサポート強化による、生徒の困り感やいじめ、不登校、問題行動等の予防、早期発見、早期指導
- ・可能な人材・資源を活用した特別支援教育体制の構築
- ・保護者・地域・関係機関等との積極的な連携
- ・生徒が自ら考え主体となって取り組む特別活動(ホームルーム活動、生徒会活動、文化・健康安全・体育的行事)の推進

### ウ 進路指導

- ・進路希望を実現するための3年間を見通した進路指導体制の構築
- ・コース制の特徴を活かした進路学習の充実
- ・論理的かつ明確に考えを表現する力の教育課程内外での育成体制の構築
- ・望ましい職業観や社会性の育成を図るキャリア教育の推進
- ・生徒、保護者及び地域への積極的な進路情報の発信
- ・オンライン公設塾との協働体制の構築及びスタディサプリの活用促進

### エ 健康・安全指導

- ・全ての学校教育活動における情報モラル、交通安全、薬物乱用防止教育、防災教育の推進
- ・学校保健活動、教育相談性やいのちに関する健康教育などの継続的取組
- ・地域環境を活用した校内美化や教育環境の維持
- ・関係機関との積極的な連携による健康・安全指導の徹底
- ・各種感染症に対する迅速な対応体制の継続